

県小学生プログラミング大会

自作ゲーム創造力あふれ

プログラミングを活用した豊かな社会づくりを子どもたちに考えてもらう」と

やま未来キッズカンファレンスの「県小学生プログラミング大会」が31日、北日本



ゴールド賞に選ばれた関谷君の発表—北日本新聞ホール

新聞ホールで開かれ、小学生が自作のロボットやゲームなど創造力あふれる作品を発表した。

【webunに写真3枚】

「もっと好きになる わたしたちのまち」をテーマに、「作品」と「アイデア」の2部門で募集。この日は作品部門で1次審査を通過した14組が、事前に撮影した作品の映像をスクリーンに映しながら、工夫した点や創作のきっかけなどを説明した。

審査の結果、作品部門の最高賞となる「ゴールド賞」には、富山大付属小6年の関谷直澄君が制作した富山の観光地をPRするゲーム「富山を駆け巡れ！ オンラインおにごっこ」が選ばれた。

大会実行委員会の山西潤一委員長(富山大名誉教授)は「自分で考えて取り組む

ことが最も大切。プログラミングの知識や技術を、豊かな社会づくりにつなげてほしい」と講評した。

とやま地域ICTクラブ推進協議会と県情報産業協会、北日本新聞社でつくる実行委員会が開いた。

- ◇作品部門▽シルバー賞|| 山田悠惺(古府6)▽ブロンズ賞||長瀬權(富山大付属4)▽未来賞||丸山皓世(古府6)本多寛仁(滑川西部4)板本悠希(川原5)岡本悠来(大門2)住田嵩展(立山中央6)▽優秀賞||藤井千晴(下関4)Team Study52(渋谷快生、伊藤大陽、内山翔太)新木彩矢(杉原3)池田卓玖(五福5)ロボ男子(上田悠生、上田恵大)竹内康次郎(西條5)